

「妊娠高血圧症候群妊婦における母体血中活性酸素に対する血清アルブミンの直接的な消去作用についての検討」に参加している患者さんへ

産科・婦人科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	妊娠高血圧腎症における尿中タンパク質排泄機序について
研究機関名及び研究機関の長	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	産科・婦人科 助教 岡本 知士
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>本研究は、妊娠高血圧腎症女性における妊娠中と産後の糸球体および尿細管障害とその変化を検証し、妊娠前後の腎臓における病態を明らかにすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる妊婦さん〕</p> <p>別研究「妊娠高血圧症候群妊婦における母体血中活性酸素に対する血清アルブミンの直接的な消去作用についての検討」(承認番号：2020-102)に参加いただいた妊婦さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2027年3月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>この研究では、妊娠高血圧腎症妊婦の腎障害(糸球体血管内皮内腔表面のグリコカリックス、上皮の足細胞、尿細管障害)を検証し、尿中蛋白排泄機序を解明します。</p> <p>「妊娠高血圧症候群妊婦における母体血中活性酸素に対する血清アルブミンの直接的な消去作用についての検討」に参加されている妊婦さんでは、血漿・尿を採取しています。この採取された血漿・尿を用いて、「妊娠高血圧腎症における尿中タンパク質排泄機序について」の研究で腎障害評価に使用させていただきます。</p> <p>対象者の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書の閲覧とその情報を入手することができます。下記連絡先の愛知医科大学病院産科・婦人科 岡本知士にお申し出ください。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕</p> <p>【なし】</p>

利用又は提供する試料・情報の項目	試料：血液、尿 情報：妊娠期間中の母体妊婦検診記録、分娩・新生児出生記録等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	【非該当】
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年3月31日までに電話にて下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 産科・婦人科 担当者：助教 岡本 知士 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153)